

ヒラメが踊り、アワビが舞う 「がっぱり海の幸フェスタinわたためがして大成」

7月27日(土)午前11時から、道の駅てっくいランド大成において「せたな町3大イベント第2弾!がっぱり海の幸フェスタinわたためがして大成」が開催されました。当日は大成区のみ真夏の快晴に恵まれ、大人気の「ヒラメつかみどり」では50cmを超えるヒラメをゲット!「わたためがしてビンゴ大会」ではテレビやWiiUをゲット!「がっぱり“あわび”もちまき」では新鮮なアワビをゲット!たくさんの方が、がっぱりゲットしていました。

また、地元の郷土芸能の披露や、歌謡ショーも開催され会場は大変盛り上がりしました。

会場ではお目当ての新鮮な海の幸や山の幸を、がっぱり満喫していただきました!





迫力ある花火に拍手と歓声も！ 晴天で賑わった「せたな漁火まつり」

8月3日・4日、瀬棚漁火公園において、せたな町3大イベントのラストを飾る「せたな漁火まつり」が開催されました。初日は、松前神楽瀬棚保存会による獅子舞の披露と餅まきでスタート。晴天のなか、たくさんのお客さんで賑わった会場では、名物イカの釣堀コーナーが開始わずか1時間半で完売してしまうなど、各売店は大盛況でした。また、一般の方（素人10名限定）がステージ上で歌を披露する「漁火にいつ出るの？今でショー！」では、参加者がスペシャルライブゲストの走祐介さんの歌を披露すると、直後に本人が登場するといったサプライズも。引き続きステージでは、恒例のビンゴ大会や、走祐介さんとThe31trioによるスペシャルライブが行われ会場をおおいに沸かせました。初日のクライマックスとなる花火大会では約2700発もの花火が夏の夜空を彩り、迫力ある花火に最後は大きな歓声と拍手が巻き起こっていました。

2日目は、7月29日から夏合宿で来町している朝日山部屋力士とのふれあいイベントが行われ、子どもたちは玉入れや綱引き、相撲をとるなど普段テレビでしか見られない生の力士と触れ合ったほか、大銀杏を結っているところも間近で見学していました。

イベントの後行われた朝日山部屋特製のちゃんこ鍋無料配布（300食限定）では、長蛇の列ができるほどの大盛況。2日間晴天に恵まれ、多くのお客さんで賑わった漁火まつりも無事終了しました。



北檜山ラウドネスが 全道大会に出場しました！

7月27～30日、旭川市「スタルヒン球場」において開催された第34回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会にせたな町の野球少年団「北檜山ラウドネス」が出場しました。

北檜山ラウドネスは檜山支部の予選大会において、上ノ国ヤンチャーズと青苗スカイバードを破り決勝戦まで進みましたが、江差フェニックスに敗れ惜しくも準優勝。この予選大会では1位が「ホクレン旗争奪・全道大会」、2位が「スタルヒン杯・全道大会」、3位が「ファイターズジュニア王座・全道大会」への出場権を得られることから、3位以内に入り見事全道大会出場枠を勝ち取りました。

全道大会では、2日目の28日に登場し標津ジャガーズ（根室）と対戦。北檜山ラウドネスは序盤からリードを保っていたものの、終盤に逆転を許し、残念ながら1回戦敗退となってしまいました。選手たちはあこがれの舞台上でのびのびと元気なプレーを見せてくれました。



三重県の愛農学園農業高校生徒 19名をせたな町で実習受入

7月25日（木）、せたな町役場において、三重県の愛農学園農業高校2年生19名の実習受入式が行われました。

実習受け入れのきっかけは、実習先農家でもある倉田健さん（瀬棚区で酪農業を営む）が、以前、当学園で教師をされていたことが縁で、せたな町で実習開始に至ったものです。

受入式では、せたな町長からの歓迎のあいさつの後、愛農学園からのあいさつ、受入農家の紹介がなされ、最後は生徒の自己紹介の中で実習に向けての意気込みも発表されました。ちなみに生徒たちは、せたな町の涼しさにとってもびっくりしていました。

生徒たちは7月25日（木）～8月7日（水）までの2週間、せたなと今金を合わせた11農家でそれぞれ実習を受けております。





「朝日山部屋」の力士たちが せたな町で最後の夏合宿

瀬棚区出身の朝日山親方（元大関「大受」）が率いる大相撲「朝日山部屋」の夏合宿が、7月29日～8月20日まで瀬棚老人と母と子の家で開催されました。

2年おきに開催している夏合宿も今回で7回目となりますが、朝日山親方が平成27年3月で定年を迎えるため、実質、今回が最後の夏合宿となります。

今回は、親方、おかみさん、床山さん、そして十両の鬼嵐はじめ力士9名が来町。期間中は稽古はもちろん、ほかにも多数のイベントなどに参加し、町民や観光客の皆さんと積極的に触れ合い交流をしました。



病院ならではのイベントが満載 初開催「病院感謝祭」

8月10日（土）、せたな町立国保病院駐車場において、今回が初めてとなる「病院感謝祭」（主催：同実行委員会）が開催されました。

オープニングには「もちつき」が披露され、つくたての餅は来場者に振る舞われました。会場にはかき氷などの売店のほか、血圧・血管年齢測定といった健康診断やAEDの体験、病院内ツアーなど病院感謝祭ならではのコーナーが多数用意されていました。

また、せたな産米の無料配布のほか、ステージでは病院一座による「津軽三味線」の演奏やビンゴ大会も行われ、当日は夕方まで雨が降り、心配された天気も回復し会場は子どもから高齢者まで幅広い年代で賑わいました。



瀬棚保育所の子どもたちが おじいちゃんおばあちゃんと交流

瀬棚保育所の子どもたちが、7月9日（火）に養護老人ホーム三杉荘を、24日（水）にはぶらっとを訪問し、おじいちゃんおばあちゃんたちと交流しました。（写真は三杉荘の訪問の様子）

瀬棚保育所の年長組と年中組（ぶらっとへは年長組のみ）の子どもたちは、お遊戯を披露した後、自己紹介をして、おじいちゃん・おばあちゃんと向かい合い「地球をくすぐっちゃオ！」というお遊戯を一緒にしました。

始めは緊張していた様子の子どもたちも、徐々におじいちゃんおばあちゃんと仲良くなり、一緒に踊ったりお話をしたりして楽しみました。

無邪気な子どもたちとのふれ合いに涙するおばあちゃんもいて、とてもあたたかな一時となりました。